

パオちゃん's EYE

2019年1月1日発行 No.22

アヤスジミゾドロムシ

2018年12月、趣味で昆虫の研究をしている(かなりハイレベル)末長晴輝さんが、「すごい虫」を博物館に寄贈してくれるというので楽しみにしていたら、これを届けてくれました。写真は大きいですが、実物の標本はごま粒よりは少し大きいかもしれませんが、普通の米粒よりは明らかに小さいです。

アヤスジミゾドロムシはヒメドロムシ科という水中にすむ甲虫類の一種で、体長2mm前後の種が多いこのグループの中では、これでもかなり大きい方です。水生昆虫でありながら、ゲンゴロウのように泳ぐことをあきらめ、水に流されないように流木にしっかりとしがみついたために、長いあしとその先端の大きなつめが発達したと考えられます。

それで、何が「すごい」のかというと、全国でも数カ所しか生息地が知られていない大変珍しい昆虫で、岡山県では、ごく最近まで生息情報は知られていませんでした。末長さんは、この虫を岡山市内の旭川水系で発見したことを共同研究者の山地治さんと共に日本甲虫学会誌「さやばねニューシリーズ」31号(2018年9月30日発行)に発表しました。

アヤスジミゾドロムシは「環境省レッドリスト2018」で絶滅危惧IB類(近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)に選定されています。ヒメドロムシ類は多様な河川環境の中で、それぞれの種ごとの好みの環境にすみ分けており、本種が希少とされる理由は、生息場所となる河川の中・下流域の砂地で、流木のある環境があまり残されていないためと考えられます。



アヤスジミゾドロムシ (体長約3.5mm)

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

